

Rotary



# 宮崎南週報

インスピレーションになろう



バリ・ラシン  
2018-18年度RI会長

## 南の風、吹かそう皆で！

宮崎南ロータリークラブ  
会長 早瀬 清則

### 第1979回例会 2018.10.15

会長／早瀬清則 幹事／山地久守  
副会長／小園隆司 会報／三重野 孝  
例会場／宮崎観光ホテル  
ソング／君が代 四つのテスト  
ロータリーの目的



宮崎RC  
長濱保廣会員



宮崎中央RC  
湯浅敏幸会員

#### 会長挨拶



皆さんこんにちは、ご報告をさせて頂きます。

昨日と、1昨日に2730地区大会が鹿児島市内で行われました。我がクラブから22名が参加されましたが、これを会員数の割合にしますと48%に当たり、宮崎県中部10クラブの中で、1番の参加率でした。皆さん参加ご協力ありがとうございました。

1日目は、オープニングセレモニーの後、ガバナー挨拶や来賓祝辞等、各種行事が続きましたが、その中で特別表彰が有り、我がクラブから大迫パストガバナーと戸高直前会長が受賞されました。この事に付いては後ほど、お2人から直接紹介して頂きたいと思います。

午後は特別講演があり、歴史家で作家の加来耕三先生が「維新の底力！そして未来へ」と題して講演をされました。明治維新は、何が原因で、何がきっかけで起こったか？その疑問を次々と投げかけながら、次第に核心に迫って行く、その様な巧みな話術により70分間が瞬く間に過ぎてしまう素晴らしいお話しでした。

#### 出席委員会報告

島田博良委員長

##### ●出席状況

本日状況	
会員数	(43) 46名
本日欠席者数	17名
本日出席者数	29名
出席率	67.44%

前々回状況	
会員数	(45) 46名
ホームクラブ出席者数	33名
メークアップ数	0名
修正出席者数	33名
修正出席率	73.33%

ニコニコ  
BOX 2件 累計 8,000円  
34,000円

募金箱 5,586円  
累計 46,370円

しかし、加来先生は歴史家であるだけに、史実を冷静に分析されました。その為今年西郷どん、や維新150年に湧く、鹿児島県民の盛り上がりに水を差す様な話しも有り、少々気の毒な思いもしましたが、皆さんはどの様に感じましたか？

夜は中村靖治RI会長代理ご夫妻をお迎えし大懇親会が有り、我がクラブの宿泊組は全会員出席致しました。宴会は、大迫パストガバナーの開会の挨拶に始まり約2時間有りましたが、他のクラブのロータリアンとも交流して、大いに親睦を深めてまいりました。

2日目は、午前中で終りでしたが、私達は姶良市前市長の基調講演まで聞いて会場を後にしました。参加された皆さんお大変疲れ様でした。

ロータリーは「自己研鑽の場である」と言われていますが、今度の大会で学ばれた事がご自分の為に、そして今後のロータリー活動に役立ちます事を祈念して報告を終わりります。

最後に今回参加された皆さんに、ねぎらいの拍手をお願い致します。ありがとうございました。

#### 幹事報告

渡邊将史副幹事



- エコキャップ報告
- 今回受領個数 2,924個
- 累計個数 164,260個



#### ロータリー情報

#### ●ビジター（Visitor）

他クラブからメークアップに来たロータリアンのことをビジターという。クラブまたはロータリアンに招待された場合を除き、来訪ロータリアンは、クラブで行われている慣行に従い食事券を自分で買うものとする。

## 親睦委員会



## 田口幸登副委員長

- 10月28日(日)宮崎南RCゴルフコンペのご案内 UMKカントリークラブ 9:00スタート

## 職業奉仕委員会



## 入佐秀幸委員長

- 10月29日(月)職場訪問を行います。  
安井息軒記念館  
12:00~12:30 食事  
12:30~13:30 講話・記念館見学

## 地区大会報告

## 戸高勝利直前会長

皆さんこんにちは。直前会長の戸高です。鹿児島で開催されました地区大会で表彰されました。ガバナー賞です。新クラブ「宮崎アカデミーロータリークラブ」の立ち上げにあたり、共同スポンサークラブ会長として尽力されました。よってその業績を称え表彰します。との内容でした。この賞は、会員の皆さんの協力と熱意により共同スポンサーになれた訳です。当時私が会長でしたので代表として受け取らせていただきました。これからも「宮崎アカデミーロータリークラブ」をしっかりと応援・支援し、新クラブとして成功させましょう。



## ニコニコBOX



### 開地俊昭会員

青年会議所の全国大会が終わりました。

### 大迫三郎会員

社員の皆さんのお陰で日本印刷産業発達功労賞を受賞いたしました。

宮崎南RC会員の皆さんのお陰で、ロータリー2730地区特別賞第一回目の表彰を受賞致しました。

ありがとうございました。



## 本日のプログラム

### 会員卓話

#### 星野敬人会員



卓話をさせていただきます星野です。

まず、本日10月15日は全国社会福祉協議会が制定した「たすけあいの日」です。日本赤十字社が実施した「防災と災害時の意識に関するアンケート」によりますと、災害時に嬉しかったことへの自由回答では「ライフラインの復旧や食料の手配」と並び、「周りの人（近所の人）からの助け合い」という回答が多かったとの事でした。改めて「助け合い」がいかに大切な機会となりました。

さて、お陰様で宮崎に赴任して9月末をもちまして2年半を経過いたしました。無事過ごせましたのも宮崎南ロータリーの皆様のお支えがあったからこそと思います。この場をお借りしてお礼申し上げます。

私共の会社は宮崎においては支店展開であります。業を通して得られたものを本社東京に送るだけのオペレーションで終わることなく、地域イベントの参画、お手伝いなどを通じていかに宮崎の元気に結びつく活動ができるかが役目と思っております。しかしながらまだ力及ばずです。

宮崎県の面積は47都道府県で14位とかなり広い県であります。北は延岡・北浦町、南は串間、西は小林の先のえびの市と半日がかり、あるいは1日がかりでまわさせていただいております。プライベートでもいろいろなところを訪ねてますが、観光ガイドブックに出ていないような所で印象に残った、行って良かったなと思った場所のお話をさせていただきます。

1つは地元の偉人である石井十次先生の足跡の残る石井記念友愛社様であります。不勉強であった私は宮崎に来るまで石井十次先生を存じ上げませんでした。案内の方の説明によりますと、岡山・倉敷の大原美術館で有名な社会福祉の父と呼ばれている大原孫三郎氏に多大な影響を与えたのが石井十次先生であるとのことでした。実際に木城町にある施設に足を運んでみると現在も約50名くらいの児童が寄宿して学校に通っていることです。

色々と調べてみると大原美術館創設の功労者である洋画家の児島虎次郎さんと大原孫三郎氏との出会いと友情は有名な話ですが、その児島画伯

と石井家は姻戚関係になりそのご子孫であられる方が現在施設を守られています。施設の事務所が置かれている木造建築物も当時は実際に子供達が寄宿していた建物であると説明していただきました。アトリエのような雰囲気であり現代においてはなかなか存在しない貴重な木造建築物だと思います。この建物以外にも何棟かあり、岡山から移設されたとのことですが、とても素晴らしい感動いたしました。

もう1つは同じ木城町でもさらに川を登ったところにある“新しき村”であります。戸高前会長は良く武者小路実篤さんの言葉を引用されていましたが、私事ですが中学校の担任の先生が“新しき村”的出身の方として記憶のどこかに残っておりました。1918年大正時代に開村され、ダム建設を機に埼玉県の毛呂山町に移転したのが戦前のことですから、私の恩師は当然、日向“新しき村”ではなく、埼玉の“新しき村”だったと思います。

今でこそ車で行くのですら寂しさを感じるのに、木城町の山道を自動車もない当時はどれほど大変なことだったかと往時がしのばれます。

当時、武者小路実篤さんも20代と若かったことですから青雲の志ならぬ青雲の高い理想をもって自他共生のユートピアの実現に熱き思いをもって日向新しき村の活動を始めたのでしょう。実際にやってみると当時の門柱が残され今も規模は小さいのですが村が営まれておりました。無料無人の資料館があり、その前に大きな10頭ほどのブタが放し飼いされておりました。新しき村の理想を感じる素敵な時間を過ごせました。

いよいよ本題に入らせていただきます。

資料をお配りさせていただいております。

1枚目は国土審議会が平成23年に作成した「我が国における総人口の長期的推移」であります。グラフを見ていただければ一目瞭然でありますが、我が国の総人口は2004年をピークに今後100年で100年前（明治時代後半）の水準に戻っていく極めて急激な減少をすることを予想しております。

2枚目はその状況下で心配なのは私たちの老後の年金についてです。資料はGPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が発表した平成30年度第一四半期運用状況です。

当該期の收益率は+1.68%（期間收益率）であり市場運用開始以降（平成13年度～）では+3.18%

（年率）であり、+66兆640億円（累積収益額）となっております。

運用資産額は158兆5,800億円であります。（平成30年度第一四半期末現在）

3枚目は運用実績の年度ごとの実績であります。

4枚目は運用資産の構成割合であります。

国内債券27.14%、国内株式35%と以下続きます。

5枚目は個人（家計）の金融資産の現状分析です。金融庁のホームページで公開されているもので

す。我が家の家計金融資産（約1700兆円）の52%（約900兆円）が現預金であり米英に比べ株式、投信等の割合が低く家計金融資産の伸びは低い水準であると述べられています。グラフにある様に米国・英国・日本の家計金融資産の推移を比較していただきますと、1995年～2015年の間米国は3.11倍、英国は2.27倍に対して日本は1.47倍にとどまっています。また近年の推移をみても我が国における現預金優位の状況は大きく変化しておりません。

何故なのでしょうか？1つの理由には投資家に成功体験を持たせることが不十分であったことを指摘されています。家訓とまでは言わないまでも、人生訓、教訓として相場をやらないほうがいいという考え方をチェンジさせるまでの成功体験を得られていないということなのだとと思われます。その責任は業者側にも多分にあると思われます。また日本においては長年にわたってデフレであったため現預金のまで正解だったということもあるのかと思います。

最後になりますが、金融広報中央委員会が運営している暮らしに役立つ身近なお金の知恵・知識情報サイトの「知るばると」のご案内の1枚リーフを添付いたしました。ここも便利ですのでお役立てください。

ご清聴いただきありがとうございました。